



## 旭川市周辺近文 - 嵐山及びその附近の植物

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-11-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 稲垣, 貫一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.32150/00000740">https://doi.org/10.32150/00000740</a>

## 旭川市周辺の近文—嵐山及びその附近の植物\*

稲 垣 貫 一

北海道学芸大学旭川分校生物学教室

Kan-ichi INAGAKI : Flora of Chikabumi-Arashiyama Hill  
and its neighbours around Asahigawa City

In-1958-'59 the author examined the vegetation of Chikabumi-Arashiyama Hill and its neighbours, and he was able to observe 418 spp. from this region.

As to the classification of ultrabasic rock, the author has followed the system of Dr. Olof Rune as well as the opinion of Toyokuni (1955). So the vegetation of the present region may be classified as follows :

1. In the ultrabasic rock (serpentine) areas ultrabasicosaxicolous plants are not found, rather frequently ultrabasicosaxicolous ubiquitous are growing. In these areas usually the following broad-leaved trees are scattered : *Quercus dentata*, *Maackia amurensis* var. *buergeri*, often *Betula platyphylla* var. *japonica*, *Sorbus alnifolia*, *Rhus trichocarpa* etc., and as shrubs *Berberis amurensis* var. *japonica*, *Spiraea media* var. *sericea*, *Rosa acicularis*, *Euonymus alatus* f. *subtriflorus* and as herbs *Asplenium incisum*, *Gymnocarpium jessoense*, *Selaginella sibirica*, *Melica nutans*, *Thalictrum thunbergii*, *Arabis serrata* var. *glaucua*, *Aruncus sylvestris*, *Hypericum erectum*, *Solidago decurrens*, *Picris japonica* subsp. *jessoensis* etc. very often *Viola sacchalinensis*, *Adenophora triphylla* subsp. *aperticampanulata* are found.

2. In non-ultrabasic rock areas considerably develop broad-leaved forests, which are principally composed of *Ulmus davidiana* var. *japonica*, *Quercus mongolica* var. *grosseserrata*, *Cercidiphyllum japonicum*, *Acer mono*, *Tilia japonica*, *Tilia maximowicziana* etc., often *Ulmus laciniata*, *Magnolia kobus* var. *borealis*, and as shrubs *Cephalotaxus harringtonia* subsp. *nana*, *Rubus idaeus* var. *aculeatissimus*, *Viburnum flucatum* etc., rather rarely *Alangium platanifolium* var. *macrophyllum*, *Clerodendron trichotomum* and except areas dominated by *Sasa palmata*, as herbs *Dryopteris crassirhizoma*, *Polystichum tripterum*, *Polystichopsis standishii*, *Maianthemum dilatatum*, *Similacina japonica*, *Chloranthus japonicus*, *Urtica platyphylla*, *Anemone flaccida*, *Cardamine leucantha*, *Pachysandra terminalis*, *Heracleum dulce*, *Asperula odorata*, *Aster glehi* etc.

\*松浦一・山田幸男両教授還暦記念論文

Noteworthy species on distributions are follows :

*Pilea japonica* new to Hokkaido is distributed disjunctively in the non-ultrabasic rock areas on the eastern side of the present hill.

*Clerodendron trichotomum* is found on the south-eastern side of the hill.

Both of these species are southern elements and have northern limits of their distributions in Japan.

The following four formae are newly recognizable to science.

*Veronica schmidtiana* Regel var. *schmidtiana*

form. *rosea* Inagaki モモイロキクバクワガタ

form. *albiflora* Inagaki シロバナキクバクワガタ

*Pilea mongolica* Weddell form. *stimulosa* Inagaki ウラゲアラミズ

*Cremastra variabilis* (Blume) Nakai form. *latifolia* Inagaki ヒロハノサイハイラン

## 緒 言

超塩基性岩植物が区系地理学、生態学的に、さらに分類学的に幾多の興味ある問題を提供している事実は既知の通りである。著者もまたこの問題に深い関心をもつ者の一人であり、1958年以来北海道中、北部の超塩基性岩植物の研究に着手し、その一環として1959年迄に旭川市の西方近文一嵐山一帯の調査を行った。

近文一嵐山及びその附近の地質は神居古潭変成岩系に属し緑泥片岩及び赤色硅岩等以外の地域は処々蛇紋岩の風化崩壊地帯が現われている。豊国(1955)は蛇紋岩及び橄欖岩等を含めた超塩基性岩の地帯の分類に関しては Olof Rune の system に従つて超塩基性岩なる語を用いているが、著者もまたそれに賛意を表して本地域の調査に当つた。

本文に於てはその植物相の概略と所産植物(418種)目録を掲載し、植物相の詳細に関しては次回を期することにした。本文を草するに当り、旭川市観光課より本調査の依頼を受けた著者は同課員各位の絶大なる御援助に、スゲ属同定については北海道大学秋山茂雄助教授に、地質に関して御教示を賜つた旭川分校井口休夫教授及び同地域の植物に就て御助言を賜つた旭川植物同好会長木村教一郎氏に、本調査の際本分校生物学教室の学生千田正雄及び松永圭朔両君を始め多くの学生諸君の御協力に対して深謝の意を表する。

## 植 物 相

近文一嵐山(弓成山を含む)の丘陵地帯は旭川市の西方に隣接し、石狩川とその支流江丹別川及びオサラッペ川とに囲まれて北海道自然博物館の略東端に位置を占めている。この丘陵地帯は近文山(260m)及び嵐山(240m)を主とし、その山稜は北方に延びて二、三の小丘を隔てて半面山(360m)に連つている。近文一嵐山の超塩基性岩はこの丘陵地帯の大部分に分布しているが、特に近文山と弓成山の西南側では東西約1000米、南北約2000米にわたる面積内にこの風化崩壊部が現れている。従つてこの地帯の植物相は他の地帯と明かな区別が認められる。

超塩基性岩地帯以外の地域に於ては一般に、オニグルミ、ハルニレ、ミズナラ、サワシバ、シ

ナノキ、オホバボダイジュ、アズキナシ、シウリ、イタヤカエデ、カツラ、ハリギリ、ヤチダモを主とし、往々オヒヨウ、キタコブシ混り、ハイヌガヤ、エゾユズリハ、エゾイチゴ、ムシカリ等の灌木散在し、稀にクサギを見るのは注意に値する。林床植物としてはクマイザサ多く群生し、その他の部分にはジュウモンジシダ、リョウメンシダ、ミヤマベニシダ、ヲシダ、コタニワタリ、ザゼンソウ、ハウチヤクソウ、マイヅルソウ、ユキザサ、ヒトリシズカ、エゾイラクサ、ムカゴイラクサ、ニリンソウ、エゾイチゲ、エゾエンゴサク、コンロンソウ、オニシモツケ、フツキソウ、ヤナギラン、オホハナウド、シヤク、クルマバソウ、アマチャヅル、ヨブスマソウ、エゾゴマナ等を生じ、処によりクルマバツクバネソウ、オクエゾサイシン、オホタチツボスミレの群生することがある。又ナラキシダ、シシガシラ、イッポウワラビ、オホメシダ、エゾスズラン、ヤマトキホコリ、コバノイラクサ、ヒメイチゲ、ホソバエンゴサク、カラフトダイコンソウ、ミヤマタニタデ、カラフトアカバナ、エゾノタツナミソウ、ミヤマニガウリ等を散見し、稍稀にエゾノシモツケソウ、エゾキケマン、ツマトリソウ、シロバナカモメヅル、ニシキゴロモ等を生じ、弓成山上部等の壮大なヤブタバコは注意を惹くものである。弓成山の南に面してクマイザサ等が伐採せられた林間斜地にはイブキヌカボ、カタクリ、オホバナノエンレイソウ、キバナノアマナ、オクエゾサイシン、ニリンソウ、エゾイチゲ、ミツバツチグリ、キジムシロ、エゾエンゴサク、アイヌタチツボスミレ、エゾノタチツボスミレ、ナニワズ、オドリコソウ等の群落が開展せられ、岩礫地にはミヤマワラビ、イワデンダ、ヒメノガリヤス、コメガヤ、クサノオウ等を生ずる。丘陵地内の処々に散在する湿地にはサトメシダ、ヤマドリゼンマイ、ミヅバシヨウ、バイケイソウ、オホバナノエンレイソウ、ミゾソバ、オホミゾソバ、エゾオホバセンキユウ、オホバタネツケバナ等を生じ、時にヒメザゼンソウを混じ、近文山西麓の湿地はヨシ、ミゾソバ、オホミゾソバ、ドクゼリ、等により構成せられている。又弓成山東斜面にはミゾシダ、ヤマミズ、ヤマトキホコリを、山麓にはクズ、クロバナハンシヨウヅル、ウスバアカザを生ずるのも分布上興味深いところである。

超塩基性岩地帯に於ては一般にカシワ、イヌエンジュを主とし、往々シラカンバ、ヤマウルシを混ざる疎林となり、林床にクマイザサの占めている地域以外、特に近文山上部から南側の急斜面及び弓成山の西南斜面等の風化崩壊地に於てはヒロハノヘビノボラズ、エゾシモツケ、オホタカネバラ、ハナヒリノキ、エゾヤマハギ等の灌木多く、処によりコマユミ、アクシバを生じ、又山麓にはホザキノナナカマドを見る。シダ植物及び草本としてはトラノヲシダ、イワウサギシダ、エゾノヒモカズラ、コメガヤ、スズメノヤリ、エゾゼンテイカ、スイバ、アキカラマツ、オホヤマフスマ、エゾノイワハダザオ、ヤマブキシヨウマ、キジムシロ、コキンバイ、ミヤコグサ、オトギリソウ、エゾオホヨロイグサ、フデリンドウ、エゾノカワラマツバ、チョウセンカワラマツバ、オトコヨモギ、コガネギク、ホソバコウゾリナ、エゾノサワアザミ等を生じ、稀にヒメナツトウダイ、ハナイカリ、ケフシグロ、フシグロ等を混ざる。なおキジカクシ、クサフジ、アイヌタチツボスミレ、ツリガネニンジン等も屢これらの風化崩壊地の植物群落に混在している。併しアキカラマツは丈低く、葉も小型となり、又6—7月頃開花して8月下旬に枯れるホソバコウゾリナは茎葉の毛は疎ら、分枝も少なく、花は鮮黄色を呈してコウゾリナの生態型を示すものと考えられる。アイヌタチツボスミレは風化崩壊地に於ては葉は小型、光沢あり、裏面紫色を帯び、花は鮮紫色を呈し、他の地域に生ずるものとは異つた生態的な変化を示している。フシグロ、ケフシグロ及びこの崩壊地に侵入したママコノシリヌグイ等は何れも分枝少なきか又は茎細く、花序疎ら、全体瘠型となり、南面溪間に生ずるクジャクシダ、オウレンシダもまた全体小型となつてい

るがツマトリソウは普通の大きさである。

#### 近文一嵐山の超塩基性岩地帯に於ける植物相の特殊性

本地域には豊国（1955）の所謂狭義の超塩基性岩植物やその特生遺存植物は今までの所では未だ発見できないが、次のような諸点を挙げる事ができる。

フシグロ及びケフシグロは屢混生しているが、分枝は疎らで、葉も比較的小型となつている。アイヌタチツボスミレはこの地域に生ずるものは葉が小型、葉裏は紫色を帯び、花は鮮紫色で他の土壤に生ずるものよりも寧ろ大型ではあるが、葉の形態ではアポイタチツボスミレ型となつている。溪側に生ずるオウレンシダ及びクジヤクシダ等も可成小型となつている。コウゾリナで6—7月に開花し、夏には枯れるものはその生態型としてホソバコウゾリナと考えられる。その他キジムシロの葉の表面の光沢強きこと、コガネグクの葉が屢狭く、縁辺の鋸歯の稍粗大なるものがある等はまた本地帯を始め道北各地の当該地帯に於ても観察するところである。

超塩基性岩遍在物と考えられるものに次の種類を挙げる事ができる。勿論これらのものは北海道及び本州に於て他の土壤にも生育しているが、本道にては寧ろこの地帯に広く見かけるようである。イワウサギシダは本地帯を始め天塩ヌプロマツポロ沢、石狩白鳥山、温根別、和寒、夕張岳山麓等に多生している。トラノヲシダは本道各地に生ずるが、本地帯を始め各処の超塩基性岩地帯にも見られる。エゾノイワハダザオは本地域の他天塩ヌプロマツポロ沢、石狩白鳥山、和寒西方山地に、ヒロハノヘビノボラズ、エゾシモツケ、ヒメナツトウダイ等は道内の他の土壤にも生ずるが道北各地の超塩基性岩地帯及び日高アポイヌプリ、オロクンネヌプリ、石狩神居山等にも及んでいる。エゾノヨロイグサは道北部に於ては本地帯の他天塩ヌプロマツポロ沢、石狩白鳥山及び和寒西方山地等に生ずる。

超塩基性岩偶生植物の一つとして挙げられるママコノシリヌグイは全株瘠型、花序疎らである。本地帯に於てエゾノヒモカズラは顕著な群落をなしている。

#### 分布上注意すべき種

南方要素と考えられるもの

クズは山麓に稀産し旭川市春光台にも生ずる。

ヤマミズは山腹の陰地に可成り群生している。近文一嵐山は本植物の本道新産地であり、その北限地と考えられる。

ヤマトキホコリは山腹の陰湿地に多く、道北部では三角、渡辺（1956）は石狩白鳥山で採集している。

クサギは東方中腹に見られるが、本地域はこの植物の北限地と思われる。

### 植 物 目 録

#### *Cephalotaxaceae* イヌガヤ科

*Cephalotaxus harringtonia* K. Koch subsp. *nana* (Nakai) Kitagawa ハイイヌガヤ  
エゾイヌガヤ

旭川市周辺の近文—嵐山及びその附近の植物

*Pinaceae* マツ科

*Abies sachalinensis* (Fr. Schm.) Masters アカトドマツ (栽植)

*Larix leptolepis* (Sieb. et Zuce.) Gordon カラマツ (栽植)

*Alismataceae* オモダカ科

*Alisma plantago-aquatica* Linn. var. *orientale* Samuels サジオモダカ

*Alisma canaliculatum* A. Br. et Bouché ヘラオモダカ

*Gramineae* イネ科

*Sasa palmata* (Beam.) Nakai クマイザサ

*Sasa senanensis* (Fr. et Sav.) Rehd. ネマガリダケ, 本地域では稀産する.

*Phleum pratense* Linn. オホアワガエリ

*Calamagrostis epigeios* (Linn.) Roth ヤマアワ

*Calamagrostis hakonensis* Franch. et Savat. ヒメノガリヤス

*Milium effusum* Linn. イブキヌカボ

*Phalaris arundinacea* Linn. クサヨシ

*Hierochloe odorata* (Linn.) P. Beauv. コウボウ

*Brachypodium sylvaticum* (Huds.) P. Beauv. ヤマカモジグサ (エゾヤマカモジグサ)

*Dactylis glomerata* Linn. カモガヤ

*Poa annua* Linn. スズメノカタビラ

*Melica nutans* Linn. コメガヤ

*Brylkinia schmidtii* Ohwi ホガエリガヤ

*Phragmites communis* Trinius ヨシ

*Muehlenbergia longistolon* Ohwi オホネズミガヤ

*Arundinella hirta* (Thunb.) C. Tanaka トダシバ

*Setaria autumnalis* Ohwi アキノエノコログサ

*Setaria pumila* (Poir.) Roem. et Schult. キンエノコロ

*Panicum bisulcatum* Thunb. ヌカキビ

*Digitaria violascens* Link アキメヒシバ

*Miscanthus sinensis* Anderss. ススキ

*Cyperaceae* カヤツリグサ科

*Carex insanae* Koidz. var. *insanae* form. *insanae* ヒロバスゲ

*Carex duvaliana* Franch. et Sav. ケスゲ

*Carex miyabei* Franch. ビロードスゲ

*Carex longerostrata* C. A. Mey. var. *longerostrata* マツマエスゲ

*Carex lanceolata* Boott var. *lanceolata* ヒカゲスゲ

*Carex puberula* Boott var. *puberula* イトアオスゲ

*Araceae* サトイモ科

*Arisaema angustatum* Franch. et Savat. var. *peninsulae* Nakai コウライテンナンシヨウ  
*Lysichiton camtschatcense* (Linn.) Schott ミヅバシヨウ  
*Symplocarpus renifolius* Schott ザゼンソウ  
*Symplocarpus nipponicus* Makino ヒメザゼンソウ, 本地域では多生しない。

*Commelinaceae* ツユクサ科

*Commelina communis* Linn. ツユクサ

*Juncaceae* キグサ科

*Luzula plumosa* E. Meyer var. *macrocarpa* (Buchen.) Ohwi スカボシソウ  
*Luzula capitata* (Miq.) Miq. ススメノヤリ  
*Juncus tenuis* Willd. クサキ  
*Juncus effusus* Linn. var. *decipiens* Buchen. キ

*Liliaceae* ユリ科

*Veratrum grandiflorum* (Maxim.) Loesen. バイケイソウ  
*Hosta rectifolia* Nakai タチギボウ  
*Hemerocallis middendorffii* Trautv. et Meyer. エゾゼンテイカ, エゾカンゾウ  
*Gagea lutea* (Linn.) Ker-Gawl. キバナノアマナ  
*Allium victorialis* Linn. var. *platyphyllum* (Hultén) Makino ギョウジヤニンニク  
*Lilium cordatum* (Thunb.) Koidz. var. *glehni* (Fr. Schm.) Ohwi オホウバユリ  
*Lilium medeoloides* A. Gray クルマユリ  
*Erythronium japonicum* Decne. カククリ  
*Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker ホソバナノアマナ  
*Asparagus schoberioides* Kunth キジカクシ  
*Polygonatum odoratum* (Mill.) Druce var. *maximowiczii* (Fr. Schm.) Koidz.  
 オホアマドコロ  
*Similacina japonica* A. Gray. ユキザサ  
*Maianthemum dilatatum* (Wood) Nels. et Macbr. マイヅルソウ  
*Disporum sessile* Don ホウチヤクソウ  
*Paris verticillata* M. V. Bieb. クルマバツクパネソウ  
*Trillium smalli* Maxim. エンレイソウ  
*Trillium kamtschaticum* Pall. オホバナノエンレイソウ  
*Smilax oldhami* Miq. シホデ

*Orchidaceae* ラン科

*Coeloglossum viride* (L.) Hartm. var. *bracteatum* (Willd.) Richter アラチドリ  
*Platanthera metabifolia* F. Maekawa エゾチドリ, 超塩基性岩地帯に稀に生ずる。  
*Cephalanthera longibracteata* Blume ササバギンラン  
*Epipactis papillosa* Franch. et Savat. エゾスズラン, 本地域では稀に生ずる。

旭川市周辺の近文一嵐山及びその附近の植物

*Liparis kumokiri* F. Maekawa クモキリソウ

*Speranthes sinensis* (Pers.) Ames ネジバナ

*Calanthe tricarinata* Lindl. サルメンエビネ

*Cremastra variabilis* (Blume) Nakai

form. *latifolia* Inagaki f. nov.

Folia 25~30cm longa, summe saepe 8~10cm lata.

Nov. Jap. Hiroha-no-saihairan (nov.), ヒロハノサイハイラン (新称)

Hab. Chikabumi-Arashiyama Hill, Mt. Hanmen, Daiba,

Prov. Ishikari. (Inagaki)

Typus : Chikabumi-Arashi Hill-SAP

Distr. Muroran. Prov. Iburi,

花をつけた成体では、母種に比して葉の幅が広い。

*Oreorchis patens* (Lindl.) Lindl. コケイラン

*Chloranthaceae* センリヨウ科

*Chloranthus japonicus* Sieb. ヒトリシズカ

*Chloranthus serratus* (Thunb.) Roem. et Schult. フタリシズカ

*Salicaceae* ヤナギ科

*Populus sieboldi* Miq. ヤマナラシ

*Populus maximowiczii* Henry ドロノキ

*Salix hultenii* Floderus var. *angstifolia* Kimura エゾノバツコヤナギ

*Salix rorida* Lackschewitz エゾヤナギ

*Salix integra* Thunb. イヌコリヤナギ

*Salix gracilistyla* Miq. ネコヤナギ

*Juglandaceae* クルミ科

*Juglans mandschurica* subsp. *sieboldiana* (Maxim.) Kitam. オニグルミ

*Betulaceae* ハンノキ科

*Caroinus cordata* Blume サワシバ

*Ostrya japonica* Sarg. アサダ

*Betula platyphylla* Sukatchev var. *japonica* (Miq.) Hara シラカンバ

*Alnus hirsuta* Turcz. ケヤマハンノキ

var. *sibirica* (Fischer) C. K. Schneid. ヤマハンノキ

*Alnus japonica* (Thunb.) Steud. ハンノキ

*Fagaceae* ブナ科

*Quercus mongolica* Fisch. var. *grosseserrata* (Blume) Rehd. et Wils. ミズナラ

*Quercus dentata* Thunb. カシワ



*Ulmaceae* ニレ科

*Ulmus davidiana* Planch. var. *japonica* (Rehd.) Nakai ハルニレ

*Ulmus laciniata* (Trautv.) Mayr オヒヨウ

*Moraceae* クワ科

*Morus bombycis* Koidz. ヤマグワ

*Humulus lupulus* Linn. var. *cordifolius* (Miq.) Maxim. カラハナソウ

*Urticaceae* イラクサ科

*Urtica laetevirens* Maxim. コバノイライサ, 東斜面の中腹等に時々見られる.

*Urtica platyphylla* Wedd. エゾイラクサ

*Laportea bulbifera* (Sieb. et Zucc.) Wedd. ムカゴイラクサ

*Pilea mongolica* Wedd.

form. *stimulosa* Inagaki f. nov.

Folia supra et subtus aliquantenus dense stimulosa.

Nov. Jap. Urage-awomizu (nov.), ウラゲアオミズ (新称)

Hab. Chikabumi-Arashiyama Hill, Kamuikotan, Prov. Ishikari.

Typus : Chikabumi-Arashiyama Hill (Inagaki) —SAP

Distr. Muroran, Prov. Iburi.

本品種は、嫩葉、老成葉も共に有毛、殊に葉裏の毛は母種に比して幾分密である。

*Pilea japonica* (Maxim.) Hand. ヤマミズ, 本種は北海道新産, 本丘陵地帯の東斜面に生ずる.

*Elatostema laetevirens* Makino ヤマトキホコリ, 道北地方では渡辺 (1956) が雨竜白鳥山で採集している. 本地域では東面陰湿地に生ずる.

*Boehmeria tricuspis* (Hance) Makino アカソ

*Loranthaceae* ヤドリギ科

*Viscum album* L. var. *coloratum* (Komar.) Ohwi ヤドリギ

*Aristolochiaceae* ウマノスズクサ科

*Asarum heterotropoides* Fr. Schm. オクエゾサイシン, 葉形変化に富む.

*Polygonaceae* タデ科

*Rumex acetosella* Linn. ヒメスイバ

*Rumex acetosa* Linn. スイバ

*Rumex crispus* Linn. ナガバギンギン

*Rumex obtusifolius* Linn. エゾノギンギン

*Polygonum aviculare* Linn. ミチヤナギ

*Polygonum perfoliatum* Linn. イシミカワ

*Polygonum senticosum* (Meisner) Franch. et Savat. ママコノシリヌグイ, 蛇紋岩崩壊地

に生ずるものは茎細く、花序疎らである。

- Polygonum maackianum* Regel サデグサ  
*Polygonum thunbergii* Sieb. et Zucc. ミゾソバ  
var *stoloniferum* Makino オホミゾソバ  
*Polygonum sieboldi* Meisn. var. *sieboldi* アキノウナギツカミ  
*Polygonum nepalense* Meisn. タニソバ  
*Polygonum nodosum* Pers. オオイスタデ  
*Polygonum hydropiper* Linn. ヤナギタデ  
*Polygonum viscoferum* Makino ネバリタデ  
*Polygonum longisetum* De Bruyn イスタデ  
*Polygonum convolvulus* Linn. ソバカズラ  
*Polygonum sachalinense* Fr. Schm. オオイタドリ

*Chenopodiaceae* アカザ科

- Chenopodium album* Linn. シロザ  
var. *centrorubrum* Makino アカザ  
*Chenopodium hybridum* Linn. ウ斯巴アカザ, 南麓に稀産する。

*Amaranthaceae* ヒユ科

- Amaranthus retroflexus* Linn. アオゲイトウ

*Portulacaceae* スベリヒユ科

- Portulaca oleracea* Linn. スベリヒユ

*Caryophyllaceae* ナデシコ科

- Sagina japonica* (SW.) Ohwi ツメクサ  
*Arenaria serpyllifolia* Linn. var. *tenuior* Mert. et Koch ノミノツヅリ  
*Moehringia lateriflora* (Linn.) Fenzl オホヤマフスマ  
*Cerastium caespitosum* Gilib. var. *ianthes* (Williams) Hara ミミナグサ  
*Stellaria aquatica* (Linn.) Scop. ウシハコベ  
*Stellaria media* (Linn.) Villars コハコベ  
*Stellaria fenzlii* Regel シラオイハコベ  
*Cucubalus baccifer* Linn. ナンバンハコベ  
*Melandryum firmum* (Sieb. et Zucc.) Rohrb. フシグロ  
form. *pubescens* (Makino) Ohwi. ケフシグロ

*Cercidiphyllaceae* カツラ科

- Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. カツラ

*Ranunculaceae* キンポウゲ科

- Clematis fusca* Turcz. クロバナハンシヨウヅル, 山麓に稀に生ずる。  
*Anemone raddeana* Regel アズマイチゲ  
*Anemone yezoensis* (Miyabe) Koidz. エゾイチゲ  
*Anemone flaccida* Fr. Schm. ニリンソウ  
*Ranunculus repens* Linn. ハイキンポウゲ  
*Ranunculus ternatus* Thunb. var. *quelpaertensis* (Léveillé) Ohwi ヤマキツネノボタン  
*Adonis amurensis* Regel et Radde. フクジユソウ  
*Thalictrum thunbergii* DC. アキカラマツ  
*Thalictrum sachalinense* Lecoyer エゾカラマツ  
*Aconitum yezoense* Nakai. エゾトリカブト  
*Actaea asiatica* Hara ルイヨウシヨウマ  
*Cimicifuga simplex* Wormsk. サラシナシヨウマ, エゾシヨウマ  
*Paeonia obovata* Maxim. ベニバナ. 花卉4~6個, 各片は楕円或は長楕円形。

*Berberidaceae* メギ科

- Berberis amurensis* Rupr. var. *japonica* (Regel) Rehd. ヒロハノヘビノボラズ  
*Caulophyllum robustum* Maxim. ルイヨウボタン

*Magnoliaceae* モクレン科

- Magnolia obovata* Thunb. ホホノキ  
*Magnolia kobus* DC. var. *borealis* Sarg. キタコブシ  
*Schisandra chinensis* (Turcz.) Baill. チヨウセンゴミン

*Papaveraceae* ケシ科

- Chelidonium majus* Linn. var. *asiaticum* (Hara, Pro subsp.) Ohwi クサノオウ  
*Corydalis ambigua* Cham. et Schlecht.  
 var. *glabra* Takeda f. *genuina* Takeda エゾエンゴサク  
 var. *glabra* f. *lineariloba* Takeda ホソバノエンゴサク  
*Corydalis speciosa* Maxim. エゾキケマン

*Cruciferae* アブラナ科

- Cardamine impatiens* Linn. ジヤニンジン  
*Cardamine scutata* Thunb. オオバタネツケバナ  
*Cardamine leucantha* (Tausch) O. E. Schulz. コンロンソウ  
*Rorippa atrovirens* (Hornem.) Ohwi et Hara イヌガラシ  
*Rorippa islandica* (Oeder) Borbás スカシタゴボウ  
*Capsella bursa-pastoris* (L.) Medik. ナズナ  
*Arabis serrata* Franch. et Savat. var. *glauca* (H. Boiss.) Ohwi エゾノイワハタザオ  
 超塩基性岩地帯に多く生ずる。

*Crassulaceae* ベンケイソウ科

*Sedum kamschaticum* Fischer キリンソウ

*Saxifragaceae* ユキノシタ科

*Astilbe thunbergii* (Sieb. et Zucc.) Miq. var. *congesta* H. Boiss. トリアシシヨウマ

*Chrysosplenium kamschaticum* Fischer チシマネコノメ

*Chrysosplenium flagelliferum* Fr. Schm. ツルネコノメソウ

*Tiarella polyphylla* D. Don. ズダヤクシユ

*Hydrangea paniculata* Sieb. ノリウツギ

*Hydrangea petiolaris* Sieb. et Zucc. ツルアジサイ, ゴトウヅル

*Hydrangea serrata* Seringe subsp. *yesoensis* (Koidz.) Kitam. エゾアジサイ, 陰地に稍々  
稀産する。

*Rosaceae*バラ科

*Spiraea media* Schmidt var. *sericea* (Turcz.) Regel エゾシモツケ, 超塩基性岩地帯に多い。

*Sorbaria sorbifolia* (Linn.) A. Br. var. *stellipila* Maxim. ホザキノナナカマド

*Aruncus sylvester* Kostel. ヤマブキシヨウマ

*Potentilla freynioides* Linn. var. *major* Maxim. キジムシロ

*Potentilla freyniana* Bornm. ミツバツチグリ

*Potentilla norvegica* Linn. エゾノミツモトソウ

*Waldsteinia ternata* (Stephan) Fritsch コキンバイ, 超塩基性岩地帯に多い。

*Geum aleppicum* Jacq. オホダイコンソウ

*Geum macrophyllum* Willd. var. *sachalinense* (Koidz.) Ohwi カラフトダイコンソウ

*Rubus idaeus* Linn. var. *aculeatissimus* C. A. Mey. エゾイチゴ

*Rubus parvifolius* Linn. ナワシロイチゴ

*Filipendula multijuga* Maxim. var. *yezoensis* Hara エゾノシモツケソウ, 南面溪側に少  
しく生ずる。

*Filipendula kamschatica* (Pall.) Maxim. オニシモツケ

*Sanguisorba tenuifolia* Fisch. var. *alba* Trauv. et Mey. ナガボノシロワレモコウ

*Agrimonia pilosa* Ledeb. キンミズヒキ

*Rosa acicularis* Lindl. オホタカネバラ

*Prunus sargentii* Rehd. エゾヤマザクラ

*Prunus ssiori* Fr. Schm. シウリザクラ

*Prunus padus* Linn. エゾノウワミズザクラ

*Paurthiaea villosa* (Thunb.) Decne. var. *zollingeri* (Decne.) Nakai ケカマツカ

*Sorbus commixta* Hedl. ナナカマド

*Sorbus alnifolia* (Sieb. et Zucc.) C. Koch アズキナン

*Legminosae* マメ科

*Maackia amurensis* Rupr. et Maxim. var. *buergeri* (Maxim.) C. K. Schn. イヌエンジユ

- Lespedeza bicolor* Turcz. エゾヤマハギ  
*Desmodium racemosum* (Thunb.) DC. ススビトハギ  
*Vicia cracca* Linn. クサフジ  
*Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi クズ, 山麓に稀産し, 本地域の他旭川市春光台にも生ずる.  
*Amphicarpaea edgeworthii* Benth. var. *trisperma* (Miq.) Ohwi ウスバヤブマメ  
*Lotus corniculatus* Linn. var. *japonicus* Regel ミヤコグサ  
*Trifolium pratense* Linn. アカツメクサ  
*Trifolium repens* Linn. シロツメクサ

*Geraniaceae* フウロソウ科

- Geranium sibiricum* Linn. var. *glabrius* (Hara) Ohwi イチゲフウロ  
*Geranium nepalense* Sweet var. *thunbergii* (Sieb. et Zucc.) Kudo ゲンノシヨウコ  
*Geranium wilfordi* Maxim. ミツバフウロ, 稀に見る.

*Oxalidaceae* カタバミ科

- Oxalis corniculata* Linn. カタバミ  
*Oxalis fontana* Bunge エゾタチカタバミ

*Rutaceae* ミカン科

- Phellodendron amurense* Rupr. var. *sachalinense* Fr. Schm. ヒロハノキバダ  
*Skimmia japonica* Thunb. var. *repens* (Nakai) Ohwi ツルシキミ

*Simaroubaceae* ニガキ科

- Picrasma quassioides* (D. Don.) Benn. ニガキ

*Euphorbiaceae* トウダイグサ科

- Daphniphyllum macropodum* Miquel var. *humile* (Maxim.) Rosenthal エゾユズリハ

*Buxaceae* ツゲ科

- Pachysandra terminalis* Sieb. et Zucc. フツキシウ

*Anacardiaceae* ウルシ科

- Rhus ambigua* Lav. ツタウルシ  
*Rhus trichocarpa* Miq. ヤマウルシ

*Aquifoliaceae* モチノキ科

- Ilex crenata* Thunb. イヌツゲ

*Celastraceae* ニシキギ科

- Celastrus orbiculatus* Thunb. ツルウメモドキ

旭川市周辺の近文一嵐山及びその附近の植物

*Celastrus orbiculatus* Thunb. var. *papillosus* (Nakai et Hara) Ohwi

イヌツルウメモドキ

*Euonymus alatus* (Thunb.) Sieb. form. *striatus* (Thunb.) Makino コマユミ

*Euonymus fortunei* (Turcz.) Hand. ツルマサキ

*Euonymus oxyphyllus* Miq. ツリバナ

*Staphyleaceae* ミツバウツギ科

*Staphylea bumalda* (Thunb.) DC. ミツバウツギ

*Aceraceae* カエデ科

*Acer japonicum* Thunb. ハウチワカエデ

*Acer mono* Maxim. イタヤカエデ

var. *mayrii* (Schwer.) Koidz. ベニイタヤ

*Balsaminaceae* ツリフネソウ科

*Impatiens noli-tangere* Linn. キツリフネ

*Impatiens textori* Miq. ツリフネソウ

*Vitaceae* ブドウ科

*Vitis coignetiae* Pulliat ヤマブドウ

*Ampelopsis brevipedunculata* (Maxim.) Trautv. var. *heterophylla* (Thunb.) Hara

ノブドウ

*Tiliaceae* シナノキ科

*Tilia maximowicziana* Shirasawa オホバボダイジュ

*Tilia japonica* (Miq.) Simk. シナノキ

*Actinidiaceae* マタタビ科

*Actinidia arguta* (Sieb. et Zucc.) Planch. サルナシ

*Actinidia polygama* (Sieb. et Zucc.) Maxim. マタタビ

*Guttiferae* オトギリソウ科

*Hypericum ascyron* Linn. トモエソウ

*Hypericum erectum* Thunb. オトギリソウ

*Violaceae* スミレ科

*Viola hondoensis* W. Becker et H. Boisis. アオイスミレ

*Viola mandshurica* W. Becker スミレ

form. *ciliata* F. Maekawa ケスミレ

*Viola selkirkii* Pursh ミヤマスミレ

form. *variegata* F. Maekawa フイリミヤマスミレ

*Viola acuminata* Ledeb. エゾノタチツボスミレ

*Viola sachalinensis* H. Boiss アイヌタチツボスミレ, 超塩基性岩地帯に著しいが, 他の地帯にも生ずる.

*Viola kusanoana* Makino オホタチツボスミレ

*Viola verecunda* A. Gray ツボスミレ

*Viola kurilensis* Nakai オホバタチツボスミレ, 西及び南西麓の湿地に生ずる.

*Thymelaeaceae* チンチヨウゲ科

*Daphne miyabeana* Makino カラスシキミ, 南方丘陵に稀に生ずる.

*Daphne kamtschatica* Maxim. var. *jezoensis* (Maxim.) Ohwi ナニワズ

*Alangiaceae* ウリノキ科

*Alangium platanifolium* (Sieb. et Zucc.) Harms var. *triloba* (Miq.) Kitamura ウリノキ, 東斜面に少しく見る.

*Oenotheraceae* アカバナ科

*Circaea cordata* Royle ウシタキソウ

*Circaea alpina* Linn. ミヤマタニタデ

*Circaea mollis* Sieb. et Zucc. ミズタマソウ

*Epilobium angustifolium* Linn. ヤナギラン

*Epilobium cephalostigma* Hausskn. イワアカバナ

*Epilobium pyrricholophum* Franch. et Savat. var. *curvatopilosum* Hara ムツアカバナ

*Epilobium glandulosum* Lehmann var. *asiaticum* Hara カラフトアカバナ

*Oenothera parviflora* Linn. アレチマツヨイグサ

*Araliaceae* ウコギ科

*Aralia elata* (Miq.) Seem. タラノキ

var. *canescens* (Franch. et Savat.) Nakai メダラ

*Aralia cordata* Thunb. ウド

*Acanthopanax sciadophylloides* Franch. et Savat. コシアブラ

*Kalopanax septemlobus* (Thunb.) Koidz. ハリギリ

*Umbelliferae* セリ科

*Hydrocotyle ramiflora* Maxim. オホチドメ

*Sanicula chinensis* Bunge ウマノミツバ

*Osmorhiza aristata* (Thunb.) Makino et Yabe ヤブニンジン

*Torilis japonica* (Houtt.) DC. ヤブジラミ

*Anthriscus nemorosa* (M. V. Bieb.) Sprengel シヤク

*Oenanthe javanica* (Blume) DC. セリ

*Cicuta virosa* Linn. ドクゼリ

*Angelica genuflexa* Nutt. エゾオホバセンキユウ

旭川市周辺の近文一嵐山及びその附近の植物

*Angelica ursina* (Rupr.) Maxim. エゾニウ  
*Angelica anomala* Lallemand エゾノヨロイグサ  
*Heracleum dulce* Fisch. オホハナウド

*Cornaceae* ミズキ科

*Cornus controversa* Hemsl. ミズキ

*Pyrolaceae* イチヤクソウ科

*Pyrola japonica* Kienze イチヤクソウ

*Ericaceae* ツツジ科

*Leucothoe grayana* Maxim. var. *oblongifolia* (Miq.) Ohwi ハナヒリノキ  
*Hugeria japonica* (Miq.) Nakai アクシバ, 南に延びた丘陵にみられる。

*Primulaceae* サクラソウ科

*Trientalis europaea* Linn. var. *europaea* ツマトリソウ  
*Lysimachia vulgaris* Linn. subsp. *davurica* (Ledeb.) Tatewaki クサレダマ  
*Lysimachia japonica* Thunb. ナガエコナスビ  
form. *subsessilis* (F. Maekawa) Murata コナスビ  
*Lysimachia clethroides* Duby オカトラノオ

*Symplocaceae* ハイノキ科

*Symplocos chinensis* (Lour.) Druce form. *pilosa* (Nakai) Ohwi サワフタギ, 山中  
の所々に生じ, 近接の伊納方面の丘陵にもみられる。

*Styracaceae* エゴノキ科

*Styrax obassia* Sieb. et Zucc. ハクウンボク

*Oleaceae* モクセイ科

*Ligustrum tschonoskii* Decne ミヤマイボタ  
*Syringa reticulata* (Blume) Hara ハシドイ  
*Fraxinus mandshurica* Rupr. var. *japonica* Maxim. ヤチダモ

*Gentianaceae* リンドウ科

*Tripterospermum japonica* (Sieb. et Zucc.) Maxim. ツルリンドウ  
*Gentiana zollingeri* Fawcett フデリンドウ  
*Swertia bimaculata* (Sieb. et Zucc.) Hook. et Thoms. アケボノソウ  
*Halenia corniculata* (Linn.) Cornaz ハナイカリ

*Asclepiadaceae* カガイモ科

*Metaplexis japonica* (Thunb.) Makino ガガイモ



*Cynanchum caudatum* (Miq.) Maxim. イケマ

*Cynanchum macranthum* (Maxim.) Nakai シロバナカモメヅル, 山麓に稍少なく生ずる.

*Convolvulaceae* ヒルガオ科

*Calyotegia japonica* Choisy ヒルガオ

*Boraginaceae* ムラサキ科

*Myosotis alpestris* F. W. Schmidt ワスレナグサ, 湿地, 川辺等に野生化している.

*Cynoglossum asperrimum* Nakai オニルリソウ

*Verbenaceae* クマツヅラ科

*Clerodendron trichotomum* Thunb. クサギ, 弓成山中腹に稀産する.

*Labiatae* シソ科

*Ajuga yezoensis* Maxim. ニシキゴロモ

*Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) Hara ツルニガクサ

*Scutellaria pekinensis* Maxim. var. *ussuriensis* (Regel) Hand. エゾタツナミソウ

*Agastache rugosa* (Fisch. et Mey.) O. Kuntze form. *hypoleuca* (Kudo) Hara キタカワミドリ

*Glechoma hederacea* Linn. subsp. *grandis* (A. Gray) Hara カキドオシ

*Prunella vulgaris* Linn. var. *aleutica* Fernald ミヤマウツボグサ

*Stachys riederi* Chamisso var. *villosa* (Kudo) Kitam. エゾイヌゴマ

*Lamium album* Linn. var. *barbatum* (Sieb. et Zucc.) Franch. et Savat. オドリコソウ

*Lycopus uniflorus* Michx. エゾシロネ

*Lycopus lucidus* Turcz. シロネ

*Lycopus maackianus* (Maxim.) Makino ヒメシロネ

*Clinopodium chinense* (Benth.) O. Kuntze subsp. *grandiflorum* (Maxim.) Hara

var. *parviflorum* (Kudo) Hara クルマバナ

var. *schibetchense* Koidz. ヤマクルマバナ

*Clinopodium sachalinense* (Fr. Schm.) Koidz. ミヤマトウバナ

*Mentha arvensis* L. subsp. *haplocalyx* Briq. var. *piperascens* Maliniv. ハツカ

*Elsholtzia ciliata* (Thunb.) Hylander ナギナタカウジユ

*Isodon inflexus* (Thunb.) Kudo ヤマハツカ

*Scrophulariaceae* ゴマノハグサ科

*Mimulus inflatus* (Miq.) Nakai ミゾホウズキ

*Veronicastrum sibiricum* (L.) Pennel var. *yezoense* Hara エゾノクガイソウ

*Veronica schmidtiana* Regel var. *schmidtiana*

form. *rosea* Inagaki f. nov.

Corolla rosea.

旭川市周辺の近文一嵐山及びその附近の植物

Nom. Jap. Momoiro-kikubakuwagata (nov.) モモイロキクバクワガタ (新称)

Hab. Cultivated in Asahigawa City (Inagaki)

Typus : Ditto-SAP

form. *albiflora* Inagaki f. nov.

Corolla alba.

Nom. Jap. Shirobana-kikubakuwagata (nov.) シロバナキクバクワガタ (新称)

Hab. Cultivated in Asahigawa City (Inagaki)

Typus : Ditto-SAP

これらの二品種は何れも旭川市内に於て往々山草家の栽植するものである。  
6月中旬開花する。

*Veronica persica* Poir. オホイヌノフグリ

*Veronica americana* (Rafin.) Schw. エゾノカワジサ, 稀に生ずる。

*Phrymaceae* ハエドクソウ科

*Phryma leptostachya* Linn. subsp. *asiatica* (Hara) Kitam. ハエドクソウ

*Plantaginaceae* オホバコ科

*Plantago asiatica* Linn. オホバコ

*Plantago lanceolata* Linn. ヘラオホバコ

*Rubiaceae* アカネ科

*Galium verum* Linn. var. *trachycarpum* DC. エゾノカワラマツバ

*Galium verum* Linn. var. *trachycarpum* DC. form. *album* Nakai チョウセンカワラマツバ

*Galium trifloriforme* Komar. オククルマムグラ

*Galium trifidum* Linn. var. *brevipedunculatum* Regel オホバノヨツバムグラ

*Galium pseudo-asprellum* Makino オホバノヤエムグラ

*Asperula odorata* Linn. クルマバソウ

*Caprifoliaceae* スイカズラ科

*Sambucus sieboldiana* Blume var. *miquelii* (Nakai) Hara エゾニワトコ

*Viburnum furcatum* Blume ムシカリ

*Viburnum wrightii* Miq. ミヤマガマズミ

*Weigela hortensis* (Sieb. et Zucc.) K. Koch タニウツギ

*Adoxaceae* レンプクソウ科

*Adoxa moschatellina* Linn. レンプクソウ

*Valerianaceae* オミナエシ科

*Patrinia villosa* (Thunb.) Juss. オトコエシ

*Cucurbitaceae* ウリ科

- Schizopepon bryoniaefolius* Maxim. ミヤマニガウリ  
*Gynostemma pentaphyllum* (Thunb.) Makino アマチヤヅル

*Campanulaceae* キキヨウ科

- Adenophora triphylla* (Thunb.) A. DC. subsp. *aperticampanulata* Kitam. ツリガネニ  
 ンジン  
*Peracarpa carnosa* (Wall.) Hook. f. et Thoms. var. *circaeoides* (Fr. Schm.) Makino  
 タニギキヨウ  
*Codonopsis lanceolata* (Sieb et Zucc.) Trautv. ツルニンジン

*Compositae* キク科

- Anaphalis margaritacea* (Linn.) Benth. et. Hook. f. subsp. *angustior* (Miq.) Kitam.  
 ヤマタバコ  
*Carpesium abrotanoides* Linn. ヤブタバコ  
*Carpesium triste* Maxim. ミヤマヤブタバコ  
*Leibnitzia anandria* (Linn.) Nakai センボンヤリ  
*Xanthium strumarium* Linn. ヲナモミ  
*Eupatorium lindleyanum* DC. サウヒヨドリ  
*Eupatorium chinense* Linn. subsp. *sachalinensis* (Fr. Schmidt) Kitam. ヨツバヒヨドリ  
*Eupatorium chinense* Linn. var. *simplicifolium* (Makino) Kitam. ヒヨドリバナ  
*Solidago virgaurea* Linn. subsp. *leiocarpa* (Benth.) Hultén コガネギク  
*Erigeron annuus* (Linn.) Pers. ヒメジヨオン  
*Erigeron canadensis* Linn. ヒメムカシヨモギ  
*Aster scaber* Thunb. シラヤマギク  
*Aster glehni* Fr. Schm. var. *glehni* エゾゴマナ  
*Aster ageratoides* Turcz. subsp. *ovatus* (Fr. et Sav.) Kitam. var. *yezoensis* Kitam.  
 エゾノコンギク  
*Petasites japonicus* (Sieb. et Zucc.) Maxim. subsp. *giganteus* (Fr. Schm.) Kitam.  
 アキタブキ  
*Senecio vulgaris* Linn. ノボロギク  
*Senecio cannabifolius* Less. ハンゴンソウ  
*Cacalia auriculata* DC. var. *kamtschatica* Matsumura ミミコウモリ?, 花のない貧弱  
 なもの故再検を要する。  
*Cacalia hastata* Linn. subsp. *orientalis* Kitam. ヨブスマソウ  
*Artemisia japonica* Thunb. オトコヨモギ  
*Artemisia montana* (Nakai) Damp. オホヨモギ  
*Adenocaulon himalaicum* Edgew. ノブキ  
*Siegesbeckia pubescens* Makino メナモミ  
*Bidens tripartita* Linn. タウコギ  
*Cirsium kamtschaticum* Ledeb. エゾアザミ

旭川市周辺の近文—嵐山及びその附近の植物

- Cirsium kamtschaticum* Linn. subsp. *pectinellum* (A. Gray) Kitam. エソノサワアザミ  
*Cephalonoplos setosum* (Bieb.) Kitam. エゾノキツネアザミ  
*Youngia japonica* (Linn.) DC. オニタビラコ  
*Youngia denticulata* (Houtt.) Kitam. ヤクシソウ  
*Picris hieracioides* Linn. subsp. *japonica* (Thunb.) Krylv. コウゾリナ  
subsp. *jessoensis* (Tatew.) Kitam. ホソバコウゾリナ, 超塩基性岩地帯に於て6—7  
月に咲くもので本変種と考えられる。  
*Taraxacum hondonse* Nakai エゾタンポポ  
*Hieracium umbellatum* Linn. ヤナギタンポポ  
*Ixeris stolonifera* A Gray イワニガナ  
*Ixeris dentata* (Thunb.) Nakai var. *partita* Kitam. キクバニガナ  
var. *albiflora* (Makino) Nakai form. *amplifolia* (Kitam.) Hiyama ハナニガナ  
*Lactuca raddeana* Maxim. var. *elata* (Hemsl.) Kitam. ヤマニガナ  
*Sonchus brachyotum* DC. ハチジヨウナ  
*Sonchus oleraceus* Linn. ノゲシ  
*Sonchus asper* (Linn.) Hill. オニノゲシ

*Equisetaceae* トクサ科

- Equisetum arvense* Linn. スギナ  
*Equisetum hyemale* Linn. トクサ

*Lycopodiaceae* ヒカゲノカズラ科

- Lycopodium obscurum* Linn. マンネンスギ  
*Lycopodium clavatum* Linn. var. *nipponicum* Nakai ヒカゲノカズラ

*Selaginellaceae* イワヒバ科

- Selaginella sibirica* (Milde) Hieron. エゾノヒモカズラ, 本地域では超塩基性岩地帯に多  
く生ずる。

*Botrychiaceae* ハナワラビ科

- Sceptridium multidum* (Gmel.) Nishida var. *robustum* (Rupr.) Nishida  
エゾフユノハナワラビ  
*Japanobotrychium strictum* (Und.) Nishida ナガホノナツハナワラビ

*Osmundaceae* ゼンマイ科

- Osmunda japonica* Thunb. ゼンマイ  
*Osmundastrum cinnamomeum* (L.) Pr. var. *fokiense* (Copel.) Tagawa ヤマドリゼンマイ

*Pteridaceae* ワラビ科

- Dennstaedtia wilfordii* (Moore) Koidz. オウレンシダ

*Pteridium aquilinum* (Linn.) Kuhn var. *latiusculum* (Desv.) Und. ワラビ  
*Adiantum pedatum* Linn. クジャクシダ  
*Coniogramme intermedia* Hieron. イワガネゼンマイ

*Aspidiaceae* ラシダ科

*Matteuccia struthiopteris* (Linn.) Todaro クサソテツ  
*Matteuccia orientalis* (Hook.) Trev. イヌガンソク  
*Onoclea sensibilis* Linn. var. *interrupta* Maxim. コウヤワラビ  
*Woodsia polystichoides* Eaton イワデシダ  
*Athyrium pterorachis* Christ オホメシダ  
*Athyrium pycnosorum* Christ ミヤマシケシダ  
*Athyrium brevifrons* Nakai エゾメシダ  
*Athyrium yokoscense* (Fr. et Sav.) Christ ヘビノネゴザ  
*Athyrium deltoidofrons* Makino サトメシダ  
*Athyrium vidalii* (Fr. et Sov.) Nakai ヤマイヌワラビ  
*Polystichum tripterum* (Kunze) Pr. ジュウモンジシダ  
*Polystichum retroso-paleaceum* (Kodama) Tagawa サカゲイノデ  
*Polystichum braunii* (Spenn.) Fée ホソイノデ  
*Polystichopsis standishii* (Moore) Tagawa リヨウメンシダ  
*Polystichopsis miqueliana* (Maxim.) Tagawa ナライシダ  
*Dryopteris crassirhizoma* Nakai ラシダ  
*Dryopteris monticola* (Makino) C. Chr. ミヤマベニシダ  
*Dryopteris austriaca* (Jacq.) Woyнар シラネワラビ  
*Phegopteris polypodioides* Fée ミヤマワラビ  
*Lastrea thelypteris* (Linn.) Bory ヒメシダ  
*Leptogramma mollissima* (Fisch.) Ching ミヅシダ  
*Gymnocarpium jessoense* (Koidz.) Koidz. イワウサギシダ, 本地域では主として超塩基性  
 岩地帯に多産する。本種は天塩ヌプロマツポロ沢, 石狩和寒西方山地, 温根別, 白鳥山,  
 雨紛奥地, 夕張岳等の超塩基性岩地帯にも見られる。  
*Cornopteris crenuloserrulata* (Makino) Nakai イツポンワラビ

*Blechnaceae* シシガシラ科

*Struthiopteris niponica* (Kunze) Nakai シシガシラ

*Aspleniaceae* チヤセンシダ科

*Asplenium incisum* Thunb. トラノオシダ  
*Phyllitis scolopendrium*. (Linn.) Newm. コタニワタリ

*Polypodiaceae* ウラボシ科

*Polypodium fauriei* Christ オシヤグジデシダ  
*Lepisorus ussuriensis* (Reg.) Ching var. *distans* (Makino) Tagawa ミヤマノキシノブ

旭川市周辺の近文—嵐山及びその附近の植物

参 考 文 献

- 館脇 操・森本伝男：アカエゾマツ林の群落生態的調査（北大演習林研究報告第8巻，天塩演習林生態調査第2報，1933）
- 館脇 操：北海道高山植物分布論（生態学研究第4巻，第2号，1938）
- 北村四郎：蛇紋岩地帯の適応と隔離（植物分類，地理，第12巻，第4号，1950，178頁）
- 中野敬一：二三の野生植物の蛇紋岩に対する感応より来る種変異（北陸の植物，第2巻，第1号，1953，18頁）
- 豊国秀夫：On the Ultrabasicosaxicolous Flora of Hokkaido, Japan 1（北陸の植物，第4巻，第4号，1955，97—100頁）；ditto 2（第5巻，第1号，1956，12—15頁）；ditto 3（第5巻，第3号，1956，81—84頁）；ditto 4（第5巻，第4号，1956，115—116頁）；ditto 5（第6巻，第1号，1957，17—20頁）；ditto 6（第6巻，第3号，1957，63—67頁）；ditto 7（第7巻，第2号，1958頁，37，38頁）
- 三角 享・渡辺定元：石狩国雨竜白鳥山の植物相（植物研究雑誌，第5巻，第4号，1956，117—121頁）
- 山崎 敬：Taxonomical and phylogenetic Studies of the Special Reference to Veronica and Veronicastrum in Eastern Asia (Journ. Facult. Sci. Tokyo Univ., Sect. III, Botany, Vol. VII, Part 2, 1957)
- 豊国秀夫：植物の分布に対する地質の影響（郷土の科学，第20号，1958，北海道学芸大学札幌分校内北海道地学連絡会）
- 稲垣貫一：上川地方及びその附近の植物雑記1（旭川市立博物館研究報告，自然科学，第1号，1959，1—3頁）
- 猪木幸男：北海道幌加内附近における角閃岩と蛇紋岩との関係について（地質学雑誌，第65巻，第763号，1959，173—183頁）